

2012年度 第3回「21世紀の風景論」研究会

# 風景の政治的・社会的・文化的構造

日時： 2013年1月31日（木）13:00～18:00

場所： 衣笠キャンパス 末川記念会館第3会議室

報告者（報告順）：

住田翔子（立命館大学国際言語文化研究所客員研究員）

「“商品化される過去”とノスタルジアの風景——『ALWAYS 三丁目の夕日』（2005）を事例に」

丸山果織（立命館大学国際言語文化研究所客員研究員）

「戦後日本とアメリカの芸術交流——書・抽象絵画・自然」

仲間裕子（立命館大学産業社会学部）

「19世紀ドイツの風景表象——そのポエティックス／ポリティックス」

前田 茂（京都精華大学人文学部）

「風景の認識から実践へ——現象学的美学を参照しつつ」

高橋秀寿（立命館大学文学部）

「エコロジーと風景——1970年代以降のドイツにおける空間の変容」

崎山政毅（立命館大学文学部）

「迷図の風景：メキシコにおける遺伝子変容のポリティカル・エコロジー」

## 【参加無料・事前申込不要】

◆お問い合わせ◆ 「21世紀の風景論」研究会事務局（立命館大学国際言語文化研究所内）

TEL:075-465-8164 E-MAIL:indscp21@st.ritsumei.ac.jp